

議 事 録

会 議 名	令和 6 年度第 1 回八潮市水道運営委員会
開催日時	令和 6 年 7 月 18 日（木） 午後 1 時 30 分～3 時 50 分
出席委員	村山委員長、木村副委員長、渡部委員、中嶋委員、最川委員、飯山委員、永倉委員、村松委員、玉森委員 9 名
次 第	1. 開 会 2. 委嘱書交付 3. 市長あいさつ 4. 自己紹介 5. 委員長・副委員長の選出 6. 議 題 (1) 八潮市水道事業の概要について (2) 令和 6 年度八潮市上水道事業予算について (3) 八潮市水道事業ビジョン・八潮市水道事業経営戦略の改定について 7. 閉 会
議 事	<p>1. 八潮市水道事業の概要について事務局から説明後、質疑応答を行った。</p> <p>○主な質疑応答 （ 委員 ） 経営状況の説明で、純利益について説明があったが、これは単年度の利益ということによるしいか。また、そうであれば、これまでの利益の累積額について伺いたい。 （ 事務局 ） ただ今説明した純利益は、令和 4 年度決算で生じた単年度の利益である。毎年度発生する純利益は建設改良積立金に積み立てることとしており、令和 4 年度末の建設改良積立金は約 15 億円となっている。なお、この積立金では、4 条予算の不足額を補填するための取り崩しと純利益の積立てが、それぞれ行われており、総額が少しずつ増加している状態である。</p> <p>（ 委員 ） 令和 4 年度の営業収益が、他の年度と比べて少ない理由を伺いたい。 （ 事務局 ） これはコロナ禍における物価高騰対策として、水道料金の減免を行ったためである。このことにより、営業収益は約 2 億円の減収となったが、国からの補助金等を財源とした繰入金 を営業外収益として繰り入れることができたため、経営に影響は生じていない。</p>

2. 令和6年度八潮市上水道事業の予算について事務局から説明後、質疑応答を行った。

○ 主な質疑応答

(委員)

分担金について、令和6年度に見込んでいる件数を伺いたい。

(事務局)

新規分として467件、口径変更分として117件を見込んでいる。

(委員)

配水管新設工事について、配水管布設替工事と比べて少なくなっているが、八潮市内で水道管が通っていないエリアがあるのか伺いたい。

(事務局)

八潮市の水道管普及率は99%であり、ほぼ八潮市内全域に水を供給できている。

配水管新設工事については、県道の道路拡幅や、駅前の土地区画整理事業による道路新設等に伴う布設工事となっている。

3. 八潮市水道事業ビジョン・八潮市水道事業経営戦略の改定について事務局から説明後、質疑応答及び意見聴取を行った。

○ 主な質疑応答、意見

(委員)

地震等の災害があったときに、水が供給されるのか心配しているが、大丈夫なのか。

(事務局)

水道部では、現計画の理想像である「安全」、「強靱」、「持続」のもと、各事業を進めている。

災害対策は、主にこの「強靱」に基づく取組であり、現在、配水管の耐震化などに努めているところである。

(委員)

八潮市水道事業ビジョンと八潮市水道事業経営戦略の違いを説明してほしい。

(事務局)

水道事業ビジョンは、施設の更新や組織体制の整備など、水道事業を継続して適切に運営するために必要な取組を定めるものである。また、経営戦略は、水道事業の経営を長期的に安定させるために必要な取組を定めるものであると認識している。

(委員)

八潮市では供給している水の80%以上が県水であり、今後、県水の値上げが予定されるとの話もあった。

この影響により、八潮市の水道代も上がるのではないかと懸念しているが、市民としては安全で安価な水を求めているといった状況もある。

一方、八潮市の水の供給状況や収支の状況については、今後厳しいものとなることが考えられる。

これらのことを総合的に考えると、ビジョン・経営戦略について意見を出すということはとても難しいことだと思う。

また、アンケートの自由筆記の意見については、様々な面から意見が提出されている。是非これらの提案についても、対応を検討してもらいたい。

(事務局)

委員には、水道事業全体について、真剣に考慮していただき、大変ありがたいと感じている。

水道事業の各課題を即時かつ同時に解決する方策を考えるのは困難なことであるが、水道部としては、いろいろな視点に基づき、出していただいた意見、要望、疑問などをもとに、今後、課題の解決に向け必要となる事業を検討することが必要であると考えている。

このため、各団体から選出された方や知識経験者の方からの率直な意見等について、水道部が対応策を検討することにより、計画の検討が進むものと考えている。

どのような意見等であっても、計画の検討材料となるので、是非とも積極的に発言していただきたい。

(委員)

それでは、今回のアンケートの実施方法について伺いたい。

(事務局)

6月3日から6月7日に行われた水道週間の期間中、市役所に来庁された方を対象にアンケートを行った。今後は、10月27日の市民まつりでも同じ質問内容で実施する予定である。

(委員)

八潮市には給水車が2台しかない中で、災害時に市内全域に水を供給することは難しいのではないかと、といった不安も持っている。

災害への関心が高まっているときには災害に特化するアンケートを行うなど、今後は定期的にアンケートを実施することも考えた方がよいのではないかと。

(委員)

県から水を購入して配水しているなど、初めて知る情報も多いと感じた。

(委員)

今後は、子どもを対象とした啓発活動や情報提供の仕方も検討したほうがよいのではないかと。また、ホームページだと見づらい人もいるので、水道だよりの発行回数を増やしたり、イラストでわかりやすくしたりしてほしい。

(事務局)

そういったご意見も、今後の情報の収集や発信に関する重要な提案となるので、参考とさせていただきます。

(委員)

水道管の耐震化率は最終的には 100%になるのか伺いたい。

耐震化率が低いと感じるが、災害が起きない限り、日常生活を送っている分には安心していてよいのか。

(事務局)

耐震工事は常に行っているが、その間にも水道管は老朽化していくので、100%の達成は非常に難しいと考えている。

また、耐震化が 100%でない以上、災害が起きた場合、100%安全とはいえないが、被害の影響をなるべく少なくするよう、管路や施設の優先順位を定めて重要な箇所から工事を行うようにしている。

(委員)

県水値上げは決まったことなのか。11月の県議会で覆ることはないのか伺いたい。

(事務局)

埼玉県からは、今後も水道水を供給するために施設更新を行う必要があり、計画通りに料金改定をしないと事業の継続が困難になる、といった話を説明会において伺っている。

(委員)

八潮市の水道水における有機フッ素化合物の水質検査の結果について伺いたい。

(事務局)

国において暫定目標値が 50ng/L 以下と定められており、八潮市でも令和 3 年度から水質検査を実施している。令和 3 年度から令和 5 年度における検査結果は、50ng/L 以下である旨をホームページ上で公表している。

(委員)

近隣と比べて八潮市の水道料金は高いと感じる。近隣市の状況を調査し、一般会計からの繰入金など、新たな財源の確保対策について考えて欲しい。

(事務局)

本日いただいたご意見等をもとに水道部において、今後、検討を進めていく。

会議終了後の意見提出も可能なので、できる限り、ご協力をお願いしたい。

以 上